

Learning Today, Leading Tomorrow

— 英語を「教科」から「未来を切り拓く力」へ転換 —

学校長 小林 道夫

国際秩序のゆらぎやAIの急速な進化により、社会は大きな転換期を迎えています。これからの時代を生きる子どもたちには、正解のない課題に向き合い、自ら考え、挑戦し、困難を乗り越えてやり遂げる力と勇気が不可欠です。そのためには、日本から世界を見つめ、世界の人々と対話・協力しながら課題解決に取り組む姿勢と、その基盤となる英語力が求められます。

本校では、こうした時代認識のもと、英語を世界とつながるための実践的な力として位置づけ、2027年度より英語教育を刷新します。入学時には、帰国生入試および第1回入試において、英語外部試験評価制度（J_DES）を導入し、国内外で培った英語力を正當に評価します。入学後は、中学1・2年で英語の取出し授業を行い、世界を意識しながら自分の考えを英語で発信する学びを展開します。

さらに、中学1年から高校1年までの全生徒を対象に、少人数制によるCLIL（内容言語統合型学習）の実践授業を段階的に実施しています。英語教員と外国人講師によるきめ細かな指導のもとで、一人ひとりの成長段階に合わせて、英語で「考え、伝え、導く力」を育てていきます。これらの学びは、国内の入試にしっかり対応できる力を養うとともに、海外大学への進学にもつながる確かな国際力の土台となります。英語を「教科」ではなく「未来を切り拓く力」として身につけ、世界とつながり、自分の可能性を広げていく生徒を神大附属は育みます。

帰国生入試および第1回入試における英語評価導入について

2027年度入試より、英語力を公正かつ多角的に評価する新制度「Jindai_Fuzoku Dual Evaluation System (J_DES)」を導入いたします。J_DESは英語外部試験を利用し得点換算する評価制度です。本制度では、国内で英語を学んだ生徒にも広く門戸を開き、それぞれの学びの背景や能力を最大限に活かした入試評価を実現します。英語力だけでなく、多様な経験や視点を持つ生徒の可能性を見極め、未来のグローバルリーダーの育成を目指します。

【1】帰国生入試の変更

従来の「算数+英語（本校独自問題）」を廃止し、2027年度入試より「算数+英語外部試験評価制度（J_DES）」に変更します。例えば英検では、合格級に応じて別表の換算点を付与し、算数の得点と合計して合否を判定します。

※ 英検であれば合格証明書・その他の英語外部試験であればスコアの証明書の提出が必須（2023年12月以降ものを有効とする）

【2】第1回入試（2月1日実施）の変更

従来の「算数+国語（2科）」に、英語外部試験評価制度（J_DES）による国語代替評価を追加します。

すべての受験者は算数と国語を受験しますが、英検であれば合格級に応じて別表の換算得点を仮の持ち点とし、国語の点数と換算得点を比べ、高得点のスコアを採用し算数の得点と合計して合否を判定します。

【英語外部試験換算表】

換算得点	2025年度以降の取得級	2025年度以前の取得級
100点	準1級以上	準1級以上
85点	2級	2級
70点	準2級プラス	準2級(CSE1829~)
60点	準2級	準2級(CSE1728~1828)
50点	3級	3級

(他の英語外部資格はCEFR対照表に準じて得点化)

※ 英検であれば合格証明書・その他の英語外部資格であればスコアの証明書の提出（ウェブにてアップロード）が必須とします。（2024年2月1日以降のものを有効とする）

※ 募集要項の指定期限を過ぎた提出は無効とします。

※ 募集枠は第1回入試と同一。出願区分の変更はありません。